

特250  
10

宮城縣伊豆沼干拓事業計畫概要

出版部



始



### 宮城縣伊豆沼干拓事業計畫概要

#### 一 地區ノ現況



本計畫地ハ宮城縣ノ北部東北本線新田驛ノ北方ニ展開セル沼澤地ニシテ三方山ヲ以テ圍繞セラレ僅カニ東方ノミ開  
ケ東洋堤及東北本線ヲ隔テ平坦ナル耕地ニ接続ス地貌ハ東西稍長ク南北ハ中央部ニ夫々丘陵迫リテ不整形ヲナシ其ノ包容  
區域ハ登米郡新田村、栗原郡畑岡村及玉澤村ノ三ヶ村ニ跨リ水面積一千三百餘町歩ヲ有ス。而シテ沼内ノ水面ハ最高K.P.二十  
六尺八寸、平水二十尺八寸、濁水二十一尺内外ニシテ地盤ハ平均十八尺内外ニアリ、中央部ハ稍平坦ニシテ周圍ニ到ルニ  
從ヒ斷次斷次ト總シテ西北ヨリ東方ニ緩傾斜ヲナス。土質ハ第四紀層ニシテ概ネ砂質壤土、腐植質壤土ノ二種ニシテ一般ニ  
肥沃農耕地ニ最モ適ス。然ルニ伊豆沼ハ從來栗原郡若柳町外五ヶ村ノ游水池ニシテ沿岸耕地ノ排水ヲ集メテ荒川ヲ經迫川ニ  
排除スルモ迫川ノ水位高水ニ達スレバ直ニ荒川ニ逆流シテ其ノ排水樋門タル假屋水門閉鎖シ、爾後荒川落堀等ノ排水ハ沼ニ  
向ツテ逆流シ、湛水日數實ニ十數日ニ及ビ排水状態一般ニ良好ナリト云フヲ得ズ。又一方用水状態ハ沿岸耕地ノ主要水源ニ  
供セラレ居ルモ其ノ支配面積僅少ニシテ用水トシテ價値頗ル少ナリ。以上ノ如ク排水トシテ利用スル外沼内ニ漁業其ノ他  
綠肥採取等ニ使用セラレツ、アルモ其ノ年産額僅々六千圓程度ニシテ沼利用トシテ一顧ノ値ナシ



## 二 事業ノ計畫說明

現在伊豆沼ハ寧ろ游水地トシテ利用セラル、ニ過ギザルモ昭和八年縣營迫川改修工事着工セラレ近ク完成ノ緒ニアリ、之ガ完成ノ曉ハ前記迫川ノ逆流ハ著シク緩和サルベク之ト相俟ツテ其ノ排水幹線タル荒川ヲ改修スルト共ニ地區内水路ノ改修ヲ行ハ、本流域ノ排水ハ速ニ迫川ニ排除シ得ベク最早本地域ノ游水地トシテ存置ノ必要ナキヲ以テ本計畫ヲ樹テ之ヲ干拓シテ耕地ト爲サントス

本排水計畫ハ前記荒川ヲ浚渫改修シテ洪水ノ疎通ヲ計ルト共ニ沼ノ南北ニ、南北兩承水溝ヲ新設シテ本流域ノ排水ヲ之ニ承ケ荒川ニ自然排水シ又沼内ノ排水ハ新中央排水路ニ集水シテ荒川口ニ導キ一方荒川口ニ排水樋門ヲ設ケテ可及的自然排水ヲナシ、樋門閉鎖後ハ前述荒川口ニ排水機ヲ設ケ毎秒約四百個ヲ荒川ニ排除セントス

本用水計畫ハ地質其ノ他地形等ヲ考察スルニ所要用水量ハ一町步當毎秒〇、一立法尺ヲ與フレバ充分ナルベク從テ全面積ニテ百四十立方尺ニテ足ルヲ以テ之ニ附近假耕地ノ代用水ヲ加算シテ毎秒百六十九個トス。而シテ之ガ用水源ハ地形上内沼、照越川、荒川、落堀トシ内沼、照越川ハ自然導水シ荒川、落堀ハ前記排水機ヲ用排兼用トシ、之ニ依リ南北兩承水溝ニ揚水道ヲ流セシメ灌溉ニ供セントス

次ニ耕地利用計畫タル本沿岸町村ハ一般ニ耕地僅少ニシテ勞力過剩ノ狀況ニアルヲ以テ沿岸住民ヲ以テ之ガ耕作ニ當ラシメントス

## 三 事業費概算

工 事 費	一、三三〇、〇〇〇 <sub>円</sub>
事 務 費	一五〇、〇〇〇
豫 備 費	三〇、〇〇〇
計	一、五〇〇、〇〇〇

而シテ其ノ財源ハ國縣ノ補助及地元負擔トシ地元負擔ニ對シテハ低利資金ノ融通ヲ受ケ土地賣却代金及年々ノ收益ヲ以テ年賦償還セントス

## 四 工事施行ノ利益

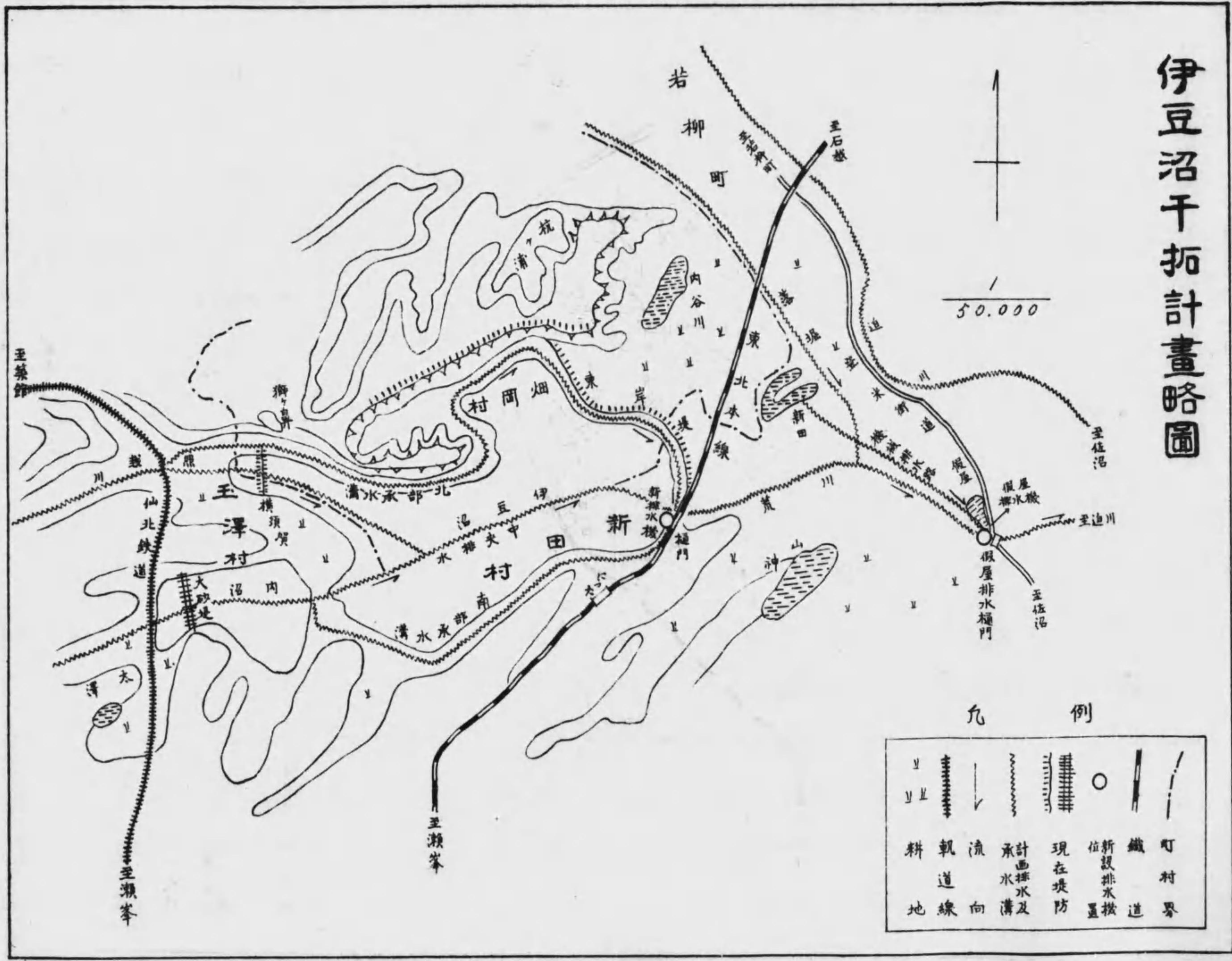
工事施行後豫定田面積ヲ一千町步トシ平均段當地價額ヲ二百圓トセバ一時的利益ハ二百萬圓トナリ、又一段步當ノ玄米收量ヲ平均二石トシ其ノ價格ヲ五十圓トシ諸經費ヲ除キタル純益ヲ反當二十圓トセバ總純利益ハ二十萬圓トナリ、之ヨリ工事前  
 沼内ノ收益百千圓ヲ減ズルモ裕ニ十九萬四千圓トナリテ事業費ニ比シ約一割三分ノ利廻リトナル



# 伊豆沼干拓計畫略圖

三事案受請書

1911.10.00



伊豆沼國營開墾期成同盟會圖



(附)

伊豆沼國營開墾期成同盟會則

- 第一條 本會ハ栗原郡畑岡、玉澤二箇村及登米郡新田村地籍伊豆沼國營開墾事業ノ促進達成ヲ圖ルヲ以テ目的トス
- 第二條 本會ノ名稱ハ伊豆沼國營開墾期成同盟會ト稱ス
- 第三條 本會ノ事務所ハ當分宮城縣耕地協會内ニ置ク
- 第四條 本會ノ會員ハ伊豆沼ノ流域干拓事業受益區域關係者トス  
本會員ハ本會ノ目的達成ノ時期迄會員タル義務アルモノトス
- 第五條 本會ニ會長一名幹事若干名ヲ置ク  
本會ハ顧問ヲ依囑スルコトヲ得
- 第六條 本會ノ經費ハ會員ノ出捐金其ノ他ノ收入ヲ以テ之ニ充ツ

意見書

宮城縣栗原郡畑岡村玉澤村及登米郡新田村ノ三箇村ニ跨ル伊豆沼ハ其ノ水面ハ約壹千數百町歩ヲ有スルモ漁獲尠ク之ヲ干拓スルトキハ約壹千町歩ノ水田ヲ造成スルコトヲ得ベシ從テ之ガ開發ノ結果ハ關係各村農家ノ耕作面積ノ不足ヲ補ヒ且比較的低廉ナル費用ヲ以テ自作農ノ創設維持ヲ圖ルコトヲ得ルヲ以テ疲弊セル本地方農村開發ノ爲最モ緊要ナル事業ナリト

六  
認ら然共之ガ所要經費ハ百數十萬圓ヲ要シ到底關係地方各村ニ於テ施行困難ノ實狀ニ有之ニ因リ國營ヲ以テ之ガ開發ヲ急  
速施行セラレムコトヲ切望スル所以ナリ  
右府縣制第四十四條ニ依リ意見書呈出候也

昭和十一年十二月十五日

宮城縣會議長 小野寺廣亮

內閣總理大臣 廣田弘毅 殿  
大藏大臣 馬場銈一 殿  
農林大臣 島田俊雄 殿

伊豆沼國營開墾期成同盟會

昭和十二年一月二十五日印刷  
昭和十二年一月二十八日發行  
(非賣品)  
代表者 伊藤坦  
編輯兼發行者 伊藤坦  
印刷者 相澤政足  
仙臺市東八番丁一四八番地  
宮城縣鹿嶋内  
印刷所 宮城縣印刷所  
宮城縣耕地協會内  
發行所 伊豆沼國營開墾期成同盟會

342  
1194

1900年 11月 11日  
第 1194 号  
第 342 号  
第 1194 号  
第 342 号  
第 1194 号  
第 342 号  
第 1194 号  
第 342 号



終

